

京田辺市子ども・子育て支援事業計画における「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」等の平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策について

- 1 教育・保育施設
 - ① 幼稚園
 - ② 保育所（園）
- 2 地域子ども・子育て支援事業
 - ① 時間外保育事業（延長保育事業）
 - ② 放課後児童健全育成事業（留守家庭児童会）
 - ③ 子育て短期支援事業（ショートステイ事業）
 - ④ 地域子育て支援拠点事業
 - ⑤ 幼稚園における一時預かり事業（預かり保育事業）
 - ⑥ 保育所、ファミリー・サポート・センターなどにおける一時預かり事業（一時保育事業）
 - ⑦ 病児・病後児保育事業
 - ⑧ 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）
 - ⑨ 利用者支援事業（はぐはぐ）
 - ⑩ 妊婦に対する健康診査
 - ⑪ 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）
 - ⑫ 養育支援訪問事業など
 - ⑬ 実費徴収に係る補足給付を行う事業
 - ⑭ 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業
- 3 教育・保育の一体的提供及び推進体制
- 4 放課後子ども総合プランに基づく取組



事業名

1-① 幼稚園

事業概要

幼稚園は義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身を助長することを目的としている事業

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ量と確保量

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
ニーズ量	1,520人	1,579人	1,587人	1,310人	1,284人
特定施設	1,150人	1,150人	1,150人	1,070人	1,015人
それ以外	378人	430人	437人	338人	338人
確保量	1,528人	1,580人	1,587人	1,408人	1,353人
実績人数 (3/31)	1,279人	1,294人	1,218人	1,165人	1,248人

※特定施設とは子ども・子育て支援新制度の確認を受けた幼稚園・認定こども園のことで、それ以外は子ども・子育て支援新制度の確認を受けていない幼稚園のことで、

※H30年度とR元年度のニーズ量と確保量等は、計画の中間見直し後の数量です。

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

<平成31年度／令和元年度の実施状況>

- ・令和2年3月31日現在での特定施設の入園者数は923人でした。
- ・それ以外の施設の入園者数は令和元年3月31日現在での集約はしていませんが、令和元年5月1日現在325人となっており、計画の確保量内に納まっていると思われます。
- ・同志社山手地区で、幼保連携型認定こども園こもれび（幼稚園枠60人）が平成31年4月に開園しました。
- ・松井ヶ丘保育園が平成31年4月に幼保連携型認定こども園へ移行（幼稚園枠15人）しました。
- ・令和元年10月から「幼児教育・保育の無償化」を行いました。

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年3月3日から24日まで臨時休業し、3月25日から4月9日までは春季休業としました。

<今後の方向性と確保方策>

- ・令和2年4月において、待機児童は発生していません。
- ・令和2年6月1日現在での特定施設の入園者数は829人でした。
- ・それ以外の施設の入園者数は令和2年6月1日現在での集約はしていませんが、令和2年5月1日現在326人となっており、計画の確保量内に納まっていると思われます。
- ・今後も引き続き、「幼小接続カリキュラム」を展開します。
- ・老朽化が著しい大住幼稚園を北部地域の拠点市立幼保連携型認定こども園（幼稚園枠105人）として、令和5年4月の開園をめざして整備を進めます。令和2年度には基本設計等を進めます。
- ・出垣内地区で、令和3年4月の開園をめざして進められる（仮称）みんなのき三山木こども園（幼稚園枠6人）の整備に対する支援を行います。令和2年度は園舎建設工事等を進めます。
- ・令和2年4月から就学前教育・保育施策の一体的・総合的な展開を進めるため、輝くこども未来室に「保育所業務」と「幼稚園業務」を統合・集約しました。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、春季休業と臨時休業と合わせて、令和2年5月31日まで休業しました。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う臨時休業に伴う保育日数の回復のため、夏季休業期間を8月8日から23日までに短縮します。

③ 令和2年6月1日現在での幼稚園（特定施設）受入数

		1号	合計
認可幼稚園（京田辺市）	田辺幼稚園	99人	99人
	田辺東幼稚園	27人	27人
	草内幼稚園	83人	83人
	大住幼稚園	86人	86人
	三山木幼稚園	103人	103人
	松井ヶ丘幼稚園	48人	48人
	新幼稚園	117人	117人
	普賢寺幼稚園	50人	50人
	小計	613人	613人
認定こども園	こもれび（京田辺市）	44人	44人
	松井ヶ丘保育園（京田辺市）	8人	8人
	歩学園幼稚園（八幡市）	46人	46人
	早苗幼稚園（八幡市）	5人	5人
	鴻池学園第三幼稚園（枚方市）	107人	107人
	春日丘幼稚園（枚方市）	5人	5人
	奈良カトリック幼稚園（奈良市）	1人	1人
	小計	216人	216人
合計		829人	829人

事業名

1-② 保育所

事業概要

保育所（園）は、保護者が日中就労や疾病などにより、就学前児童を保育することができないと認められる場合に、保護者の代わり保育を実施することを目的としている事業

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ量と確保量

年 度		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
ニーズ量		1,266人	1,285人	1,284人	1,260人	1,560人
2号 (3歳以上児)		694人	724人	724人	858人	985人
3号	1・2歳児	459人	451人	448人	440人	558人
	0歳児	116人	116人	115人	89人	128人
確保量		1,269人	1,291人	1,287人	1,387人	1,671人
実績人数 (4/1)		1,240人	1,253人	1,199人	1,307人	1,299人

※H30年度とR元年度のニーズ量と確保量等は、計画の中間見直し後の数量です。

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

＜平成31年度／令和元年度の実施状況＞

- ・平成31年4月1日現在での入園者数は1,299人でした。
- ・同志社山手地区で、幼保連携型認定こども園こもれび（保育所枠138人）が平成31年4月に開園しました。
- ・松井ヶ丘保育園が平成31年4月に幼保連携型認定こども園へ移行（保育所枠20人増）しました。
- ・令和元年10月から「幼児教育・保育の無償化」を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、公立小・中学校が臨時休校となる

間（3月3日～31日）、できる限り家庭での保育を行っていただくよう協力依頼しました。

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、保育所（園）を欠席された方へ保育料及び給食費を日割り計算により返金しました。

<今後の方向性と確保方策>

- ・令和2年4月において、待機児童は発生していません。
- ・令和2年6月1日現在での入園者数は1,386人でした。
- ・保育施設は計画どおりに確保できていますが、保育を支える保育士確保も課題となっていることから、引き続き募集します。
- ・引き続き、「幼小接続カリキュラム」を展開します。
- ・老朽化が著しい大住幼稚園を北部地域の拠点市立幼保連携型認定こども園（保育所枠79人）として、令和5年4月の開園をめざして整備を進めます。令和2年度には基本設計等を進めます。
- ・出垣内地区で、令和3年4月の開園をめざして進められる（仮称）みんなのき三山木こども園（保育所枠90人）の整備に対する支援を行います。令和2年度は園舎建設工事等を進めます。
- ・令和2年4月から就学前教育・保育施策の一体的・総合的な展開を進めるため、輝くこども未来室に「保育所業務」と「幼稚園業務」を統合・集約しました。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、公立小・中学校が臨時休校となる間（4月1日～5月31日）、できる限り家庭での保育を行っていただくよう協力依頼しました。
- ・6月1日から、通常保育を行っています。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため保育所（園）を欠席された方へ、保育料及び給食費を日割り計算により返金しました。

③ 令和2年4月1日現在での保育所入所数

		2号	3号	合計
認可保育所・園	河原保育所	153人	99人	252人
	河原保育所分園	－人	23人	23人
	草内保育所	64人	34人	98人
	三山木保育所	174人	87人	261人
	南山保育所	－人	31人	31人
	大住保育園	72人	52人	124人
	みみつく保育園	136人	85人	221人
	小計	599人	411人	1,010人
認定こども園・市外保育園	松井ヶ丘保育園（京田辺市）	127人	98人	225人
	こもれび（京田辺市）	65人	59人	124人
	歩学園幼稚園（八幡市）	14人	0人	14人
	早苗幼稚園（八幡市）	1人	0人	1人
	鴻池学園第三幼稚園（枚方市）	55人	0人	55人
	Bambi保育園（守口市）	0人	1人	1人
	中登美こども園（奈良市）	1人	0人	1人
	たかやまこども園（生駒市）	0人	1人	1人
	真土保育園（弘前市）	0人	1人	1人
	小計	263人	160人	423人
合計		862人	571人	1,433人

事業名

2-① 時間外保育事業（延長保育事業）

事業概要

保護者の就労形態の多様化などにより、18時以降も保育を必要とする児童に対し、時間外で保育を行う事業

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ量と確保量

年 度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
ニーズ量	377人	383人	382人	375人	371人
実施箇所	7か所	7か所	7か所	7か所	8か所
確保量	377人	383人	382人	375人	371人
実績人数 (3/1)	440人	445人	520人	760人	568人

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

＜平成31年度／令和元年度の実施状況＞

- ・令和2年3月1日現在の利用登録者は568人で、希望者全員の利用ができています。
- ・幼保連携型認定こども園こもれびで時間外保育事業を始めました。

＜今後の方向性と確保方策＞

- ・引き続き、市内の6つの保育所（園）と2つのこども園（合計8か所）で時間外保育事業を実施します。
- ・令和2年6月1日現在での利用者数は577人です。
- ・令和3年3月31日時点での年間利用者数577人となる見込みです。
- ・大住幼稚園が北部地域の拠点市立幼保連携型認定こども園として開園（令和5年4月）をするのに併せて、時間外保育事業（延長保育事業）事業を始めます。令和2年度には基本設計等を進めます。
- ・（仮称）みんなのき三山木こども園の開園（令和3年4月）に併せて、時間外保育事業（延長保育事業）事業を始めます。令和2年度は園舎建設工事等を進めます。
- ・令和2年4月から就学前教育・保育施策の一体的・総合的な展開を進めるため、輝くこども未来室に「保育所業務」と「幼稚園業務」を統合・集約しました。

事業名

2-② 放課後児童健全育成事業（留守家庭児童会）

事業概要

保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童を対象に、授業が終わった後の遊びや生活の場を提供し、指導員の活動支援のもと児童の健全育成を図る事業です。

平日の放課後のほか、土曜日・夏休みなどの長期休暇中にも実施しています。

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ量と確保量

年 度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
ニーズ量	780人	782人	790人	800人	803人
実施校	8校	8校	8校	8校	8校
確保量	820人	820人	820人	820人	820人
実績人数 (5/1)	772人	840人	867人	933人	941人

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

<平成31年度／令和元年度の実施状況>

- ・令和元年5月1日現在での登録児童数は941人でした。
- ・実績人数が確保量を上回っていますが、学校施設の活用などにより、希望者全員の入会ができています。
- ・児童数は、成長によりひとりで留守番ができるようになった等の理由による退会により、例年、年度途中で登録児童数は減少します。令和2年3月1日現在での登録児童数は812人でした。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、公立小・中学校が臨時休校となる間（3月3日～31日）、できる限り家庭での保育を行っていただくよう協力依頼しました。

<今後の方向性と確保方策>

- ・留守家庭児童会における開所時間の延長については、保護者のニーズを踏まえ検討します。
- ・令和2年5月1日現在での登録児童数は985人でした。
- ・放課後児童支援員不足が深刻化しており、継続して募集を行うとともに、人員の新たな確保策として、派遣会社の活用を行います。
- ・今後も、専用施設の増設や学校施設の活用などにより、確保量を増やしていきます。
- ・(仮称)みんなのき三山木こども園の開園(令和3年4月)に併せて、放課後児童健全育成事業(留守家庭児童会)が始まります。令和2年度は園舎建設工事等を進めます。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため、できる限り家庭での保育をしていただくよう依頼をしました。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大の防止のために、留守家庭児童会を欠席された方の負担金を日割り計算により減免します。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、公立小・中学校が臨時休校となる間(4月1日~5月31日)、できる限り家庭での保育を行っていただくよう協力依頼しました。
- ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、できる限り家庭での保育を行っていただくよう協力依頼しています。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため留守家庭児童会を欠席された方へ、保育料を日割り計算により返金しました。

事業名

2-③ 子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

事業概要

保護者の疾病・疲労などの理由により家庭において養育を行うことが一時的に困難となった児童を児童福祉施設などにおいて一定の期間養育または保護を行う事業

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ量と確保量

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度
ニーズ量	0人	0人	0人	0人	0人
実施箇所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
確保量	20人	20人	20人	20人	20人
実績人数 (3/31)	7人	5人	5人	26人	2人

※計画策定の基礎資料として行った京田辺市子ども・子育て支援のに関するニーズ調査において、「子育て短期支援事業」に関するニーズがなかったことから、今後5年間のニーズ量は「0人」となっています。

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

＜平成31年度／令和元年度の実施状況＞

- ・令和2年3月31日現在での利用者数は2人でした。利用者全員の利用ができています。

＜今後の方向性と確保方策＞

- ・今後も引き続き、事業を進めます。
- ・令和2年6月1日現在での利用者数は0人です。
- ・令和3年3月31日時点での年間利用者数20人となる見込みです。

事業名

2-④ 地域子育て支援拠点事業

事業概要

在宅の乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言その他の援助を行う事業

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ量と確保量

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
ニーズ量	68,293人	67,412人	66,899人	66,275人	65,688人
実施箇所	8か所	8か所	8か所	7か所	8か所
確保量	69,200人	69,200人	69,200人	69,200人	69,200人
実績人数 (3/31)	68,446人	65,538人	66,224人	61,101人	57,819人

<8か所の内訳> 支援センター3か所・児童館4館・子育てひろば1か所

② 平成31年度/令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

<平成31年度/令和元年度の実施状況>

- ・令和2年3月31日現在での利用者数は57,819人でした。利用者全員の利用ができています。
- ・児童館4か館は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年3月7日から31日まで休館しました。
- ・令和元年5月27日に、山手中央地区（JR松井山手駅前）で地域子育て支援センター松井山手を開設しました。

<今後の方向性と確保方策>

- ・今後も引き続き、利用者ニーズを踏まえつつ子育てに係る講習会の内容充実を図ります。
- ・令和2年6月1日現在での利用者数は292人です。
- ・令和3年3月31日時点での年間利用者数35,858人となる見込みです。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、児童館4か館を令和2年4月1日

から5月31日まで、支援センター3か所と子育てひろば1か所を令和2年4月20日から5月31日まで閉館しました。

- 各施設は6月から開館していますが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、3密にならないように利用制限をしています。
- 今後も引き続き、児童館などを子育て支援の場として事業を行い、既存の保育所(園)、幼稚園、認定こども園では園庭開放事業等を実施し、子育て支援の場として提供します。
- 大住幼稚園が北部地域の拠点市立幼保連携型認定こども園として開園(令和5年4月)をするのに併せて、地域子育て支援拠点事業を始めます。令和2年度には基本設計等を進めます。

事業名

2-⑤ 幼稚園における一時預かり事業（預かり保育事業）

事業概要

通常の教育時間の前後や長期休業期間中などに、保護者の希望に応じて、園児を保育する事業

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ量と確保量

年 度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
ニーズ量	23,565人	24,485人	24,612人	23,934人	23,649人
実施箇所	8か所	8か所	8か所	8か所	10か所
確保量	67,200人	67,200人	67,200人	67,200人	67,200人
実績人数 (3/31)	28,473人	27,980人	32,144人	32,635人	31,487人

(R元年度の内訳) 公立8幼稚園 31,482人
松井ヶ丘保育園 5人

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

＜平成31年度／令和元年度の実施状況＞

- ・平成2年3月31日現在での利用者数は31,487人でした。
- ・一部の園で利用希望者が定員（35人／日）を超え、抽選となる日もありました。
- ・令和元年10月から「幼児教育・保育の無償化」を行いました。
- ・幼保連携型認定こども園こもれびと松井ヶ丘保育園で一時預かり保育事業を始めました。
- ・幼保連携型認定こども園こもれびでの一時預かり保育事業は幼稚園児全員（1号認定児44人）に対して行っています。
- ・公立幼稚園が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休業した間も、一時預かり保育事業を実施しました。

＜今後の方向性と確保方策＞

- ・今後も引き続き、市立8幼稚園と2つのこども園（合計10か所）で一時預かり事業を実施します。
- ・令和2年6月1日現在での利用者数は1,088人です。

- 平成3年3月31日現在での利用者数は31,000人となる見込みです。
- 公立幼稚園では、幼稚園が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休業した間も、一時預かり保育事業を実施しました。
- 大住幼稚園が北部地域の拠点市立幼保連携型認定こども園として開園(令和5年4月)をするのに併せて、同幼稚園から幼稚園における一時預かり保育事業を引き継ぎます。令和2年度は基本設計等を進めます。
- (仮称)みんなのき三山木こども園の開園(令和3年4月)に併せて、幼稚園における一時預かり事業を始めます。令和2年度は園舎建設工事等を進めます。
- 令和2年4月に就学前教育・保育施策の一体的・総合的な展開を進めるため、輝くこども未来室に「保育所業務」と「幼稚園業務」を統合・集約しました。

事業名

2-⑥ 保育所、ファミリー・サポート・センターなどにおける
一時預かり事業（一時保育事業）

事業概要

保護者が冠婚葬祭や育児疲れなどの理由により、家庭での保育が一時的に困難となった子どもを、主に昼間、保育所（園）で一時的に預かる事業

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ量と確保量

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	
ニーズ量	6,505人	6,421人	6,372人	6,313人	6,257人	
実施箇所	3か所	3か所	3か所	3か所	5か所	
確保量	保育所	7,500人	7,500人	7,500人	7,500人	7,500人
	ファミサポ	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人
確保量	8,600人	8,600人	8,600人	8,600人	8,600人	
実績人数 (3/31)	4,649人	4,230人	5,284人	4,473人	5,841人	

(R元年度の内訳) 保育所等 4,842人
ファミサポ 999人

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

＜平成31年度／令和元年度の実施状況＞

- ・令和2年3月31日現在での利用者数は5,841人（保育所等4,842人、ファミサポ999人）でした。
- ・保育所における一時保育事業では、日によってはキャンセル待ちが発生しました。
- ・幼保連携型認定こども園こもれびと松井ヶ丘保育園で一時保育事業を始めました。
- ・令和元年10月から「幼児教育・保育の無償化」を行いました。

＜今後の方向性と確保方策＞

- ・今後も引き続き、市立2保育所と2つの幼保連携型認定こども園、ファミリー・サポート・センター（合計5か所）で事業を実施します。

- 令和2年6月1日現在での利用者数は56人です。
- 令和3年3月31日現在での利用者数は815人となる見込みです。
- ファミリー・サポート・センター事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により4月は25件のキャンセルがありました。5月は4月実績と同程度の利用でした。
- 大住幼稚園が北部地域の拠点市立幼保連携型認定こども園として開園（令和5年4月）をするのに併せて、一時預かり事業（一時保育）を始めます。令和2年度は基本設計を進めます。
- 令和2年4月から就学前教育・保育施策の一体的・総合的な展開を進めるため、輝くこども未来室に「保育所業務」と「幼稚園業務」を統合・集約しました。

事業名

2-⑦ 病児・病後児保育事業

事業概要

児童が病中または病気の回復期にあつて集団保育が困難な期間、
 保育所（園）・医療機関などに付設された専用スペースなどで看護
 師等が一時的に保育する事業

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ量と確保量

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
ニーズ量	1,217人	1,232人	1,258人	1,288人	1,296人
実施箇所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
確保量	2,880人	2,880人	2,880人	2,880人	2,880人
実績人数 (3/31)	1,092人	1,194人	1,174人	1,160人	1,040人

(R元年度の内訳) 浜口キッズクリニック 747人
 やすらぎ保育園 293人

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

＜平成31年度／令和元年度の実施状況＞

- ・令和2年3月31日現在での利用者数は1,040人（浜口キッズクリニック747人、やすらぎ保育園293人）でした。利用者全員の利用ができています。
- ・令和元年10月から「幼児教育・保育の無償化」を行いました。

＜今後の方向性と確保方策＞

- ・病児保育利用者の待機者が発生しないよう、企業主導型保育事業型の病児保育所（やすらぎ保育園）の利用についての広報を進めます。
- ・令和2年6月1日現在での利用者数は52人です。
- ・平成3年3月31日現在での利用者数は785人となる見込みです。
- ・大住幼稚園が北部地域の拠点市立幼保連携型認定こども園として開園(令和5年4月)をするのに併せて、体調不良児対応型病児保育事業を始めます。令和2年度は基本設計等を進めます。
- ・令和2年4月から就学前教育・保育施策の一体的・総合的な展開を進めるため、輝くこども未来室に「保育所業務」と「幼稚園業務」を統合・集約しました。

事業名

2-⑧ 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

事業概要

乳幼児や小学生などの児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かりなどの援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ量と確保量

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
ニーズ量	2,581人	2,594人	2,659人	2,756人	2,805人
確保量	4,188人	4,156人	4,202人	4,346人	4,491人
実績件数 (3/31)	3,299人	2,879人	2,884人	2,388人	2,704人

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

＜平成31年度／令和元年度の実施状況＞

- 令和2年3月31日現在での利用者数は2,704人でした。すべての依頼を受けることができました。
- 令和元年10月から「幼児教育・保育の無償化」を行いました。無償化の対象者は保育の必要性の認定を受け、預かりを利用された方です。

＜今後の方向性と確保方策＞

- 今後も引き続き、支援体制の充実及び事業の継続性を図るため、まかせて会員の登録会・講習会の開催や、会員の定着を図るための研修会や交流会などのPRに努め増員を図ります。
- 令和2年6月1日現在での利用者数は125人です。
- 平成31年3月31日現在での利用者数は2,107人となる見込みです。（新型コロナウイルス感染症の影響のため、4月はキャンセルが多く、5月は依頼が少なかったです。また、緊急事態宣言は解除されたものの6月も引き続き在宅ワークの方や習い事が休みになっている等の理由により、昨年6月と比べ46%の依頼となっています。）

事業名

2-⑨ 利用者支援事業（はぐはぐ）

事業概要

子どもまたはその保護者に、教育・保育施設や地域の子育て支援事業などの情報提供及び必要に応じ相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整などを実施する事業

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画における確保量

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
確保量	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
実績数 (4/1)	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

＜平成31年度／令和元年度の実施状況＞

- ・平成31年4月1日現在での実績数は1か所でした。
- ・地域の特性に応じた妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行うため、平成31年4月から今までの利用者支援事業（特定型）に併せて母子保健型を実施し事業を拡充しました。名称は『子育て世代包括支援センター「はぐはぐ」』に変更しました。
- ・妊娠期から見通しを持って子育てが楽しくできるように、市民の声を反映させた「子育て応援ガイドブック」（令和2年度版）を2,000部発行しました。

＜今後の方向性と確保方策＞

- ・今後も引き続き、保育所入所に関する相談や子育てに関する相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整、広報媒体や子育て応援ガイドブック、フェイスブック等を活用して情報発信を行います。
- ・令和2年6月1日現在での実施数は1か所でした。
- ・平成3年3月31日現在での実施数は1か所となる見込みです。
- ・今後も引き続き、専門職の職員が妊娠・出産・子育て等に係る相談に対応します。
- ・今後も引き続き、「産前・産後サポート事業」と「産後ケア事業」を実施します。

事業名

2-⑩ 妊婦に対する健康診査

事業概要

妊婦の健康の保持及び増進を図り、安心・安全な出産に資するよう、①健康状態の把握②検査計測③健康指導を行うとともに、妊娠期間中の適時に、必要に応じた医学的検査を実施する事業

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画における確保量

年 度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
確保量	613人	611人	605人	601人	595人
受診票交付者数 (3/31)	625人	599人	625人	629人	547人
受診者数 (3/31)	865人	878人	853人	882人	832人

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

＜平成31年度／令和元年度の実施状況＞

- ・令和2年3月31日現在での受診票交付者数は547人で、希望者全員に対して母子健康手帳に「妊婦健康診査公費負担受診券または助成」を添付し妊婦健康診査費用（14回分）を助成できました。受診者数は832人でした。
- ・出産後、間もない時期の産婦に対する健康診査への助成を始めました。

＜今後の方向性と確保方策＞

- ・今後も引き続き、京都府医師会及び大阪府医師会の医療機関並びに京都府助産師会の助産所で実施します。それ以外の医療機関においては助成事業として実施します。
- ・検査項目は現状及び国の方向性に沿って実施します。
- ・令和2年6月1日時点での受診票交付者数は87人、受診者数は302人です。
- ・令和3年3月31日時点での受診票交付者数は581人、受診者数は852人となる見込みです。

事業名

2-⑪ 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）

事業概要

子育て家庭の孤独化を防ぎ、乳児の健全な育児環境の確保を目的に生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て相談や支援に関する情報提供、養育環境などを把握する事業

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画における確保量

年 度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
推計値	557人	555人	550人	546人	541人
対象人数 (3/31)	538人	572人	528人	564人	556人
訪問実施数 (3/31)	506人	551人	512人	549人	551人

※実施数には他市依頼も含む

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

＜平成31年度／令和元年度の実施状況＞

- ・令和2年3月31日現在での対象人数は556人、訪問実施数は551人でした。訪問できる方全員に訪問ができました。
- ・「産後うつ」の状態を早期に把握するため、訪問時に「エジンバラ産後うつ病質問票」を導入しました。
- ・「エジンバラ産後うつ病質問票」の実施によりメンタルヘルスの不調等支援が必要なケースをより多く把握できることを見据え、「子育てひろば」に訪問支援拠点を立ち上げ、切れ目のない支援体制を整えました。

＜今後の方向性と確保方策＞

- ・今後も引き続き、対象者全員に訪問ができるよう努めるとともに、対象児が低出生体重児等で入院中であつたり、里帰り出産で本市におられないなど訪問できないケースについては、その状況の把握を行います。
- ・令和2年6月1日時点での対象人数は87人、訪問実施数は83人です。

- 令和3年3月31日時点での対象人数は522人、訪問実施数は473人となる見込みです。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭訪問の延長、電話等による保健指導などを希望される方がおられます。その場合は、調査票を送付し、必要事項を記載していただき返送していただいています。これにより、乳児と家族の状況を把握し、その上で電話にて個別相談を行い、必要な支援に繋げています。
- 引き続き、「エジンバラ産後うつ病質問票」を実施します。
- 職員の相談技術のさらなるスキルアップを図り、充実させます。

事業名

2-⑫ 養育支援訪問事業など

事業概要

養育支援が特に必要な家庭に対し、その居住を訪問して養育に関する指導・助言などを行う事業

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画における確保量

年 度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
確保量	103件	103件	102件	101件	100件
実績件数 (3/31)	89件	94件	105件	112件	73件
延べ訪問回数 (3/31)	293回	153回	160回	151回	134回

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

＜平成31年度／令和元年度の実施状況＞

- ・令和2年3月31日現在での実施件数73件、延べ訪問回数は134回でした。対象者全員に訪問できました。

＜今後の方向性と確保方策＞

- ・育児不安を抱える人が増えているといわれる現在、保護者が適切に不安に対処し、安心して子育てができるよう必要な支援や助言を行うため、今後も引き続き全戸訪問に努めます。
- ・令和2年6月1日時点での実施件数18件、延べ訪問回数は27回です。
- ・令和3年3月31日時点での実施件数108件、延べ訪問回数は162回となる見込みです。
- ・今後も京田辺市要保護児童対策地域協議会との連携を図ります。

事業名

2-⑬ 実費徴収に係る補足給付を行う事業

事業概要

施設によっては実費徴収などの上乗せ徴収を行う場合が想定されている。日用品・文房具など必要な物品の購入に要する費用や行事への参加に要する費用などの実費負担の部分について、低所得者の負担軽減を図るため、公費による補助を行う事業

① 京田辺市子ども・子育て支援事業計画における確保方策

年 度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
確保方策	実施する	実施する	実施する	実施する	実施する
確保実績 (3/31)	2件	3件	4件	2件	19件

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

<平成31年度／令和元年度の実施状況>

- ・令和2年3月31日現在での実績数は19件でした。

<今後の方向性と確保方策>

- ・今後も引き続き、実費徴収に係る補足給付を行う事業を実施します。
- ・令和2年6月1日現在での実績数は0件です。
- ・令和3年3月31日現在での実績数は29件となる見込みです。

事業名

2-⑭ 多様な主体が本制度に参入することを促進するための
事業

事業概要

子ども・子育て支援制度等の円滑な施行のためには、多様な事業者の能力を生かしながら、保育所（園）・地域型保育事業などの整備を促進していくこととされています。

しかしながら、新たに整備・開設した施設や事業が安定的、かつ継続的に事業を運営し、利用者の信頼関係を築いていくためには一定期間必要であることから、新規事業者が事業を円滑に運営していくことができるよう、支援、相談・助言、さらには、他の事業者の連携施設のあっせんなどを行う事業

① 計画期間における実績数

年 度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
実績数 (3/31)	0 件	0 件	1 件	1 件	1 件

② 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

＜平成31年度／令和元年度の実施状況＞

- ・令和2年3月31日現在での実施数は1件でした。

＜今後の方向性と確保方策＞

- ・民間活力を活用した特定教育・保育施設等の整備・運営を促進するため、支援等を行います。
- ・令和2年6月1日現在での実施数は1件です。
- ・令和3年3月31日現在での実施数は1件となる見込みです。

※今後の方向性と確保方策は、計画の中間見直しを反映したものです。

事業名

3 教育・保育の一体的提供及び推進体制の確保

事業概要

本市における、教育・保育の一体的提供及び推進体制の確保を行う事業

① 「京田辺市幼保連携推進会議」の設置状況

- ・設置時期 平成24年10月12日
- ・設置目的 子どもの健やかな育ちを支える幼児教育と子育て支援の充実に向け、幼稚園と保育所の連携を図ること
- ・構成員 こども政策監・輝くこども未来室担当課長
健康福祉部長・健康福祉部副部長・子育て支援課長・市立保育所長会
教育部長・教育指導監・教育部副部長・学校教育課長・学校環境整備課長・市立幼稚園長会長

② 令和2年3月31日現在での開催状況

平成31年度／令和元年度の開催実績

幼保連携推進会議	8回
幼保連携推進会議実務担当者会議	3回
幼稚園・保育所・児童館管理職懇談会	3回
幼保合同研修会	2回
幼保合同保健研修	4回
幼稚園教育研究会	3回
保育所職員研修会	4回

③ 平成31年度／令和元年度の実施状況及び今後の方向性と確保方策

<平成31年度／令和元年度の実施状況>

- ・各種の会議を開催し、本市における今後の就学前教育・保育事業を進める上での課題を抽出し、共有を図りました。

- ・教育の質の向上のために研修会を開催しました。

＜今後の方向性と確保方策＞

- ・幼保連携推進会議は令和2年3月31日をもって廃止しました。令和2年度からは「(仮称)こども施策推進プロジェクト会議」を設置することとし、事業を引き継ぎます。
- ・全ての就学前の子どもに義務教育を見据えた質の高い教育・保育を保障しながら多様な教育・保育ニーズなどに対応していくため、幼保連携型認定こども園の導入を進めます。
- ・今後も引き続き、「幼小接続カリキュラム」の実践等を進めます。
- ・就学前教育・保育施策の一体的・総合的な展開を進めるため、令和2年4月から輝くこども未来室に「保育所業務」と「幼稚園業務」を統合・集約しました。
- ・幼保合同研修会(年2回)・保健研修(年4回)・幼稚園教育研究会(年3回)・保育所職員研修会(年4回)などを開催します。

※今後の方向性と確保方策は、計画の中間見直しを反映したものです。

事業名

4 放課後子ども総合プランに基づく取組

事業概要

国において策定された「放課後子ども総合プラン」に基づき、留守家庭児童会と放課後子どもプランの連携を進める事業

① 留守家庭児童会の登録数

登録児童数	941 人	令和元年5月1日現在
-------	-------	------------

② 留守家庭児童会及び放課後子どもプランの一体型実施の開催箇所数

箇所数	6 か所	年間見込数
-----	------	-------

③ 放課後子どもプランの実施箇所数

箇所数	8 か所	年間見込数
-----	------	-------

④ 留守家庭児童会及び放課後子どもプランの一体的な、又は連携した実施に関する具体的な方策

- ・留守家庭児童会の枠にとらわれない、「放課後の子どもの居場所」の選択肢を増やし、児童の安全・安心な放課後等の居場所を確保します。
- ・令和2年3月に、三山木小学校において留守家庭児童会とは別に、毎日型の居場所づくり事業を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止しました。
- ・今後も引き続き、両事業のスタッフの情報共有・情報交換を図るとともに、必要に応じて連携を図りながら、放課後子どもの内容・実施日等について協議します。

⑤ 留守家庭児童会及び放課後子どもプランへの小学校の施設や教室等の活用に関する具体的な方策

- ・今後も引き続き、小学校と協議の上、活用を図ります。

⑥ 留守家庭児童会及び放課後子どもプランの実施に係る教育委員会と福祉部
局の具体的な連携に関する方策

- ・両事業とも、教育委員会において一元的に所管します。

⑦ 地域の実情に応じた留守家庭児童会の開所時間の延長に係る取組

- ・留守家庭児童会における開所時間の延長については、保護者のニーズを踏まえ検討します。

